

新潟県立大学北東アジア研究所公開セミナー

「ブラックホールを見る－台湾で世界最先端の研究を行う」

2019年、人類は初めてブラックホールを見ました。イベント・ホライズン・テレスコープ(EHT)という、世界中に散らばるミリ波サブミリ波望遠鏡が協力して地球規模の望遠鏡を形作り、楕円銀河M87の中心を観測した成果です。その後、我々の銀河系の中心にあるブラックホールの撮影にも成功し、ブラックホールがどう見えるかが分かってきました。本セミナーでは、EHTの台湾代表を務めておられる松下聰樹 氏に、ブラックホールの研究成果に加え、これまで海外で研究を行ってきたご経験なども含めて講演頂きます。

参加無料

日時: 2025年12月15日(月) 13:00-14:30

開催方式: オンライン

講師

松下聰樹 氏

台湾中央研究院天文及天文物理研究所リサーチフェロー

プログラム

※プログラム内容は変更になる場合があります。

- 13:00-13:05 開会
- 13:05-14:05 講演「ブラックホールを見る－台湾で世界最先端の研究を行う」
松下聰樹 氏
- 14:05-14:25 質疑応答
- 14:25-14:30 閉会

お申込方法

北東アジア研究所ホームページ(<https://www.unii.ac.jp/erina-unp/>)または、QRコードよりお申し込み下さい。

申込QRコード



申込完了後メールにて参加用URLをお送りします。

前日までにメールが届かない場合は、下記までお問合せください。

お問い合わせ

新潟県立大学企画広報課

TEL: 025-368-8224 FAX: 025-270-5173

E-mail: erina-unp@unii.ac.jp

 新潟県立大学
University of NIIGATA PREFECTURE